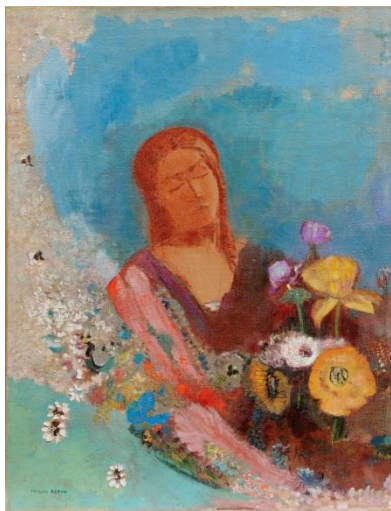


2017年10月17日

## 三菱一号館美術館2017-2018展覧会スケジュールのお知らせ



オディロン・ルドン《眼をとじて》1900年以降  
油彩／カンヴァス 岐阜県美術館蔵

### ルドン 一秘密の花園 展

2018年2月8日(木)～5月20日(日)

主催：三菱一号館美術館

オディロン・ルドン(1840-1916年)は、印象派の画家たちと同世代でありながら、幻想的な内面世界に目を向け、その特異な画業は、今も世界中の人の心を魅了して止みません。なかでも本展は植物に焦点をあてた、前例のない展覧会です。

当館が所蔵する《グラン・ブーケ(大きな花束)》は史上最大級のパステル画で、ドムシー男爵の城館の食堂を飾る装飾の中心として構想されました。本展では、同食堂の残りの15点の壁画(オルセー美術館所蔵)と合わせ一堂に会する、貴重な機会となります。また、出品作およそ90点のうち大半は、オルセー美術館、ポルドー美術館、プティパレ美術館(パリ)、ニューヨーク近代美術館、シカゴ美術館、フィリップス・コレクションなど海外の主要美術館の所蔵作品により構成する、大規模なルドン展となります。

### ショーム展

#### ーパリのティアラ、ジュエリーの魅力(仮)

2018年6月28日(木)～9月17日(月・祝)

主催：三菱一号館美術館

ヴァンドーム広場に軒を連ねる「パリ五大宝飾店」の代表格であるショームは、1780年に創立された老舗メゾンです。ナポレオンI世と皇妃ジョゼフィーヌ御用達のジュエラーとして、上流階級の女性を中心にヨーロッパ各国で人気を博し、儀礼や社交の場で権力の証として着用されてきました。

本展は、ルーヴル美術館名誉館長アンリ・ロワレット氏監修の下、18世紀後半から現代まで、約240年に及びショームの伝統と歴史を紹介する日本初の展覧会です。ロマン主義、ジャポニスム、アール・デコといった芸術潮流との対話の中で洗練された作品ーダイヤモンドのティアラやネックレス等の宝飾品と、未発表の素描や古写真等約300点を展覧します。

### フィリップス・コレクション 展(仮)

2018年10月17日(水)～2019年2月3日(日)

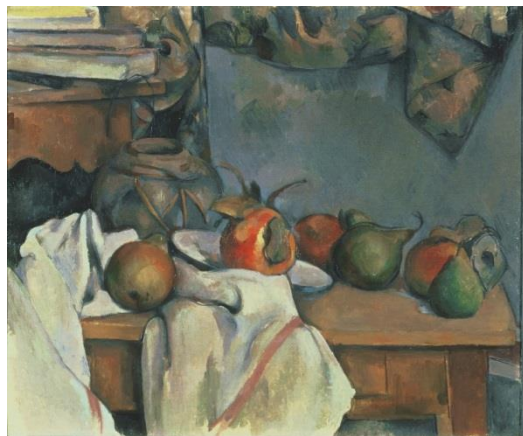
主催：三菱一号館美術館

裕福な実業家家庭に生まれ、高い見識を持ったダンカン・フィリップス(1886-1966)の蒐集品を核とし、米国有数の私立コレクションとして知られるワシントンのフィリップス・コレクションは、1918年、私邸でコレクションを公開し始めました。2018年には100年を迎えます。1921年にはニューヨーク近代美術館よりも早く、アメリカでは最初の近代美術中心の美術館として開館しました。フィリップスの常に厳しい取捨選択によって、手元に残されたコレクションはいずれも質の高いものばかりです。

本展では、この世界有数の近代美術コレクションの中から、アングル、コロー、ドラクロワ等19世紀の巨匠から、クールベ、そして近代絵画の父マネ、印象派のドガ、セザンヌ、モネ、またはポスト印象派のゴッガン、新しい美術を切り開いた後継のボナール、クレー、ピカソ、ブラックらの秀作およそ75点を展覧します。



François-Regnault NITOT, *Ear of Wheat Tiara*,  
Gold, silver and diamonds, ca.1811, 6.5 cmX15 cm  
Collection Chaumet Paris  
© Chaumet - Nils Herrmann



ポール・セザンヌ《ザクロと洋梨のあるショウガ壺》1893年 油彩／カンヴァス  
Gift of Gifford Phillips in memory of his father, James Laughlin Phillips,  
1939